

第2回学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 大垣養老高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和4年11月8日(火) 10:00~12:00
- 3 開催場所 大垣養老高等学校 会議室
- 4 会議の構成 学校運営協議会委員

会 長	林 新太郎	同窓会長
副 会 長	久保寺 美佳	地域の住民
委 員	長屋 道幸	保護者(本校PTA会長)
	清水由美子	養老町議会議員
	野崎 道夫	特別養護老人ホーム「白鶴荘」施設長
	伊藤由美子	女性農業経営アドバイザー
	宇納 光好	藤井ハウス産業(株)総務部長
学 校 側	石黒 比利	校長
	西脇 淳子	事務部長
	大矢 英樹	教頭
	奈波 宏和	教頭
	土本 繁	教務主任
	戸田 京介	生徒指導部長
	水谷 孝彦	進路指導部長
	大野 宏	総合学科部長
	長谷川 緑	農場長
	桂川 法生	寮務部長
- 5 会議の概要
 - (1) 学校長挨拶
 - ・学校の現状について
 - ・コロナ禍での学校対応や生徒の様子について
 - (2) 授業参観・施設見学
 - ・調理室(愛玩動物餌作り)、微生物室(酵母菌の分離)、教室(数学A、生活教養等)

(3) 学校評価の結果について

意見1：家庭で学校の話をよくしている。

意見2：通信、メール等による情報配信が有効に活用されている。

意見3：ICTを活用した学習活動等により生徒の理解を高めようとしている。

意見4：コロナ禍による講演や体験活動、各種行事の縮小に満足できないでいる状態である。

(4) 「生徒心得」の改定についての協議

・守らせるルールではなく、ルールを正しく主体的に守っていく姿勢をもち、自ら公正な気持ちをもって生活するための「生徒心得」への改定案を提示。

意見1：時代に応じて変えていくことは大切であり、自身の自覚を促す心得としていくことはたいへん良いことである。

6 会議のまとめ

今回は、授業参観の場で、生徒から、研究活動内容の説明や学習内容の説明を行った。交流授業により、対話を通じて生徒の姿を見ていただくことができた。

また、「生徒心得」の改定に対しては、有益な新しい「生徒心得」の承認を受けた。引き続き「質実剛健・自主創造」を掲げ、更なる魅力の伝承に努めていくことを確認した。

学校の情報発信、地元企業や大学との連携強化を深め、魅力ある学校づくりを推進していきたい。